

科目名	東アジア地域論 Economy and Politics in East Asia	科目コード	A0140
-----	--	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）
区分・単位数	専攻科科目・選択・2単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義26，報告発表会4】
教科書	プリントを使用、教科書は後に指定する
補助教材	ウェブページ、プレゼンテーション
参考書	平川均・石川幸一他編著：東アジアのグローバル化と地域統合-新・東アジア経済論Ⅲ（ミネルヴァ書房）

### 【A. 科目の概要と関連性】

1. 日本と東アジア地域の政治的・経済的諸関係を、ウェブの資料を分析し考察する。
2. 留学生のプレゼンを聞く。近年の中国とベトナムの経済発展についての考察と検討をする。

- 関連する科目：法学、社会学、歴史学Ⅰ（以上前々年度履修）
- 歴史学Ⅱ、哲学、経済学（以上前年度履修）

### 【B. 到達目標と学習・教育到達目標との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
① 「東アジア共同体」についてなど日本の対アジア及び対中国、そして対ベトナムの関係のあるべき姿を展望すること。留学生のプレゼンを聞くなどして、具体的な事情を把握する。	15%	(B4)
② 東アジア地域の経済に関して報告すること。	25%	(B4)
③ 東アジアについて世界的な広がりを持つ視野を養い、東アジア地域の興味のある国の経済について、レポートをまとめて提出すること。	30%	(B4)
④ 3の個人レポートにより、プレゼンテーションを行うこと。	20%	(B4)
⑤ 4のプレゼンテーションを視聴して評価すること。	10%	(B4)

### 【C. 履修上の注意】

東アジア地域の経済に関して、興味のある国の経済について調査して、問題について個人レポートを提出し、それをもとづいたプレゼンテーションをおこなうことが課されている。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格点とする。

- 定期試験【60%】（報告書（30），プレゼンテーション（30））

- その他【 40%】（授業内容に関する報告や小論文提出状況、授業時の発言状況）

## 【E. 授業計画・内容】

### ● 前期

回	内容	備考
1	ガイダンス、報告の方法、自分の関心のある国を、北東アジア諸国、東南アジア諸国、インドから選択	外務省、総務省統計局、各国大使館、調査国の資料提出
2	自分の関心のあるアジアの国の経済の調査 国際関係学演習参加	第3端末室、ネット調査 調査国の経済資料提出
3	中国の経済大国化の現状と課題、資源、環境、通貨、格差、民主化、影の銀行	プリント、課題：小論文
4	中国の社会経済発展：グローバルシティ形成、新帝国循環、グローバル成長循環	課題：小論文
5	「中国のシリコンバレー中関村」：佐藤報告	課題：小論文
6	ベトナムの改革と経済発展：日越 EPA 締結、タンロン工業団地、ノイバイ工業団地、	課題：小論文
7	ベトナムの改革と経済発展： e-Government 政策（IT 化）とサイエンスシティ政策 「ベトナムの IT 産業」佐藤共著報告	課題：小論文 「Hoalac High Tech Park と Saigon High Tech Park」
8	ベトナムの貿易と成長：JICA の ODA の役割	課題：小論文 プレゼンテーマ提出
9	シンガポールの発展：日本を抜いた！	課題：小論文 外務省プリント
10	東アジアの地域統合、東アジア共同体構想、日中対立：外務省	課題：小論文、プレゼンテキスト提出
11	東アジアの経済成長、開発理論、NIES、ASEAN、CLMV の発展：韓国、マレーシア、ベトナム	課題：小論文
12	東アジアの金融危機（1997）と金融グローバリズム タイの通貨危機と金融理論	課題：小論文、プレゼン原稿（PP など）提出
13	資料調査報告：学生によるプレゼンテーション（1）	プレゼン、コメント
14	資料調査報告：学生によるプレゼンテーション（2）	プレゼン、コメント
15	資料調査報告：学生によるプレゼンテーション（3）	プレゼン、コメント